２０２２年7月１日発行

くるみ乳児院だより　第２１号

社会福祉法人大阪福祉事業財団 くるみ乳児院　発行責任者 小山　道彰
〒538-0054 大阪市鶴見区緑１丁目１８-３０ TEL:０６-６１８０-５０６２

金魚すくい　おててですくえるかな？

♦くるみ乳児院のめざすもの♦

“子どもの権利条約”に基づき、すべての「子どもの最善の利益」が尊重されることを基本にしています。子どもたち一人ひとりの違いを認め、子どもの気持ちに寄り添う養育を行っています。

コロナ禍でもできること

新型コロナウイルスが猛威をふるい３年目を迎えますが、乳児院の子どもたちを取り巻く生活環境も大きく変化しました。当初は、不要不急の外出はできるだけ避け、生活様式も見直しましたが、子ども達にとって必要な社会経験や取り組みはできるだけ中止はせずに少人数で行い、密を避けるなどして実施をしています。

ユニットの生活の中では、職員が四季折々の楽しい保育計画を立てています。春にはお弁当を持って近くの公園にピクニックにでかけ、夏には「七夕まつり」を行い、ヨーヨー釣りや魚釣りなど様々なゲームを楽しみました。秋にはハロウィンパーティーを行い、子どもと一緒に職員も様々なキャラクターに仮装し、子ども達の仮装がとっても可愛く印象的でした。冬には、寒さに負けず、手作りの凧を制作し子ども達と一緒に走って凧あげをしました。子ども達の生活の場では、「できること」と「できないこと」がやはり感染状況によってはありますが、コロナ禍を過ごしてきたこれまでの経験で、私達職員も感染状況を見ながらの対策や対応が身についてきたように感じています。

子育て家庭だけでなく、社会全体が大人も子どももしんどい状況ではないかと思います。今だからこそ“くるみ乳児院でできること”をこれからも模索し、自施設のもつ専門性を充分に発揮できるよう、明るく前向きに職員一同で力を合わせて取り組んでいきたいと思います。

総主任　青山　絵美

後援会からのお願い
『2022年度会員募集』

大阪福祉事業財団後援会は、2001 年 12 月に「人を人として大切にする本当の社会福祉の実現をめざして、結びつきと絆を大切に、輪を広げましょう」と呼びかけて結成されました。後援会では、法人各施設の増改築や新しい施設づくりなどの事業に協力し、会員相互の交流を深めながら権利としての社会福祉の実現をめざす協力・共同の取り組みを進めています。当法人の大阪府下の多くの施設で老朽化が進み、国や地方自治体は財政難を理由に、福祉・教育・医療などの予算を削減し、施設建て替え時の自己資金の割合も大きくなっています。

大阪福祉事業財団は、皆様の物心両面にわたるご支援・ご協力を必要としております。まだ入会されていない方は、ぜひ入会していただきますよう、宜しくお願いいたします。

＊個人会員　１口　３、０００円　＊団体会員　１口　１０、０００円

大阪福祉事業財団と社会福祉の発展に協力し、応援してくださる方は、
くるみ乳児院（06-６１８０-５０６２）までご連絡ください。

福祉のひろば
あなたも福祉が好きになる！！
そんな１冊を手に取ってみせんか？

興味のある方は下記まで問い合わせください。
〒538-0054　　大阪市鶴見区緑１丁目１８－３０
℡06-6180-5062　　くるみ乳児院　福祉のひろば係：渡邊

これからの行事予定

7月　七夕

8月　夏のおでかけ

9月　親子で遊ぼう

くるみ乳児院では、地域のニーズを受け止めながら子育て支援を行っています。

『ショートステイ事業』

（大阪市の事業）

父母などが病気などで一時的にこどもの養育が困難になった時に宿泊をともなうかたちでお預かりしています。利用年齢は２歳未満です。状況によってはお預かりできないこともあります。
詳細についてはお問い合わせください。

ご寄付ありがとうございます

たくさんのご寄付誠にありがとうございました。

・大阪府玩具・人形問屋協同組合連合会　様　　・一般財団法人 H2O サンタ　様
　玩具　　こども衣類、ガーゼハンカチ
・大阪府共同募金会　様「R3 年度地域のこどもの福祉のための助成事業」
　屋上芝生の張替え　こどもの布団改善　新型コロナウィルス感染防止対策として光触媒
・株式会社グルーヴ　様　食事用テーブル

こどもの日

２階のベランダには大きなこいのぼりを飾り、ホールには兜をだしました。
当日、ホールで絵本を読んで、こいのぼりの歌をうたい、子どもたちはリズムにのってからだを動かしたりと楽しんでいました。
初めてみる柏餅には「なんだろう？」と驚いているようでしたが、食べはじめると、葉っぱを剥ぐのを楽しみ、そのおいしさに、パクパクと、たくさん食べていました。

梅雨にも負けず

２０２２年7月１日発行

こどもたちと作った、てるてるぼうず

傘に模様をつけました

梅雨の合間に、あじさいをみにいったよ

クッキング!おいしいやきそば作り

ある日のお昼ご飯に、みんなでやきそばを作りました。大人と一緒に野菜を切ったり、キャベツを手でちぎったりと、子どもたちもたくさんお手伝いをしてくれました。大きなホットプレートで順番に焼きそばを炒めました。子どもたちも目をキラキラ輝かせながら、「つぎかな？」と順番を待つことができました。味見をするととても美味しかったようで、「もっかい、もっかい」とおかわりをしようとしていました。
みんなで作った焼きそばは、とてもおいしくて、すぐになくなりました。

１年目を終えて

みんなかわいい

一年目を終えて思ったことは子どもの笑顔がかわいいということです。毎日あれやこれやとやることがありなかなか余裕がない１年目でしたが、その中でも子ども達の笑顔は見逃さないように見てきました。仕事につまずき落ち込むこともありました。しかし子どもの笑顔を見ると頑張ろうと思えました。まだまだ未熟な部分もあり課題はありますが、二年目も子どもの笑顔を見逃さないように仕事を頑張っていきたいです。

保育士　きんじょう

１日１日を大切に

１ 年目は初めてのことで溢れており、あっという間に終わりました。毎日子どもたちの笑顔に元気をもらい、少しずつ子どもたちとの関係ができて大変なこともありますが楽しくやりがいを持って働くことが出来ています。

２年目に入り、はじめて自分の担当のこどもを送り出す経験をしました。限られた時間の中で１日１日を大切に子どもたちにたくさんの愛情を注ぎ、子どもたちの気持ちに寄り添いながら関わっていこうとより強く決意しました。

保育士　いちひら

２年目ならではのやりがい

初めての事ばかりであっという間に過ぎた１年でした。最初はたくさんの試し行動をしていた子どもたちとも少しずつ関係ができて、１ 人ひとりの成長を間近で見られるこの仕事は本当にやりがいがあると改めて思いました。２ 年目になり任される仕事も増えてきましたが、何事にも真剣に取り組み、子どもたちとの１日１日を大切に、前向きに頑張って行きたいと思います。

保育士　にしむら

子どもらしさ

１年目ではすべてのことが初めてでとても早く過ぎた１年間でした。担当するこどもを２人持たせてもらい、１人は家庭に帰り、とても微笑ましい気持ちになりなした。

２年目も引き続き担当のこどもと保護者との関係を大切にし最後まで見ていければと思います。

子どもの笑顔は仕事の励みとなり、その笑顔に癒されます。その笑顔を守れるように子どもの思いをしっかりと受け止め養育していきたいです。

保育士　つじ

新任職員の紹介

　くるみ乳児院で正規職員として働くようになり３カ月が過ぎました。委員会や研修に参加したり日々の業務に追われたりと、毎日があっという間に過ぎているように感じます。うまくいかないことや自分で判断しないといけないことも多く日々悩みつつ業務に励んでいます。まだ慣れない中での勤務ではありますが、毎日お部屋にいくと笑顔で駆け寄ってきてくれる子や、けがをしたところを一生懸命教えてくれる子など日々元気に生活しているところを見ると仕事のやりがいを感じています。

　これから夏に向けて脱水や熱中症等も増加する季節になります。そこで、こどもたちが健康で生活できるようにこどもの変化に気づくことができるよう関わっていきたいと思います。

看護師　いわむら

入職して ３ カ月が経ちました。やっと、子どもたちの生活リズムや、子どもたちとの関わり方がわかってきて、とても充実した日々を送ることができています。幼いころから保育士に憧れてきた私にとっては、夢がかなったことを嬉しく、また、誇りに思っています。まだまだ未熟ではありますが、子どもたちに寄り添うことができる保育士を目指して頑張っていきたいです。

保育士　はらだ

正規職員として働くようになり、３カ月が過ぎました。非常勤職員として働いていた時とは比べ物にならないほど、仕事の量が増え、どう効率よく進めていこうかと試行錯誤の日々です。４月に担当のこども w を持たせてもらうことができ、夢が叶った思いでした。これからも、日々子どもたちの笑顔や笑っちゃうような行動、その子の課題点なども他の職員と共有しながら過ごしていきたいと思います。

保育士　まつばら

くるみ乳児院で務めて ３ 年目になります。事務所のデスクに座らせてもらい電話対応等する機会が増えたり、くるみ乳児院の正規職員なんだなと感じる毎日です。栄養士になってはじめて献立作成をさせて頂き、くるみ乳児院の栄養士としてとても責任を感じながら業務に励んでいます。ここで生活している子どもたちが毎日飽きずに楽しく食事ができるように、いろいろな献立を考えていきたいと思っています。

調理師　きたおか

現場で日々子どもたちの養育に関わる先生方や子どもたちの笑顔に支えられ、最近は少し落ち着いて、子どもたちの生活の場である乳児院において、心理職がどう役立つことができるかを考えながら現場に入ることができるようになりました。今後、子どもたちの養育に関わる職員や関係者の方々と一緒に悩み考え、子どもたちの健やかな育ちを支えることができる職員として活躍できたら嬉しく思います。

心理士　つくだ